

# Biotinylated Kinases

84

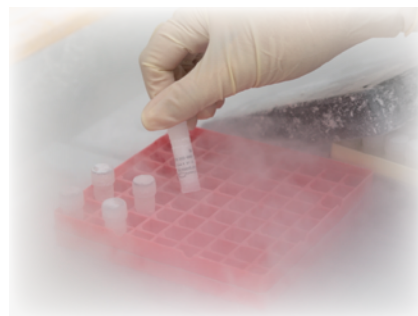
種類

表面プラズモン共鳴(SPR)やバイオレイヤー干渉法(BLI)といった物質間の相互作用を評価する系(解析機器)でご利用いただけるビオチン化キナーゼ蛋白質を販売しております。これらの解析機器で低分子化合物の創薬研究・開発を行なう際、リガンドとする標的分子蛋白質を活性、構造を保持したままセンサー表面に固定化(固相化)することはとても難しいことです。当社はこれまで300を超えるキナーゼ種を自社製造してきた上で培ったノウハウを元に下記の特長をもつビオチン化キナーゼ蛋白質の開発成功に至り、販売する運びとなりました。

## ビオチン化キナーゼ蛋白質

このような特長や利点があります

- 一つのキナーゼ分子に一つのビオチン分子をラベリング
- 特異的部位をビオチン化
- バキュロウイルス発現システムにより蛋白質を取得
- 購入後のラベリングが不要で取扱いが簡単 → 時間、コスト削減に貢献



### ビオチン化キナーゼ蛋白質(FLT3)の使用例

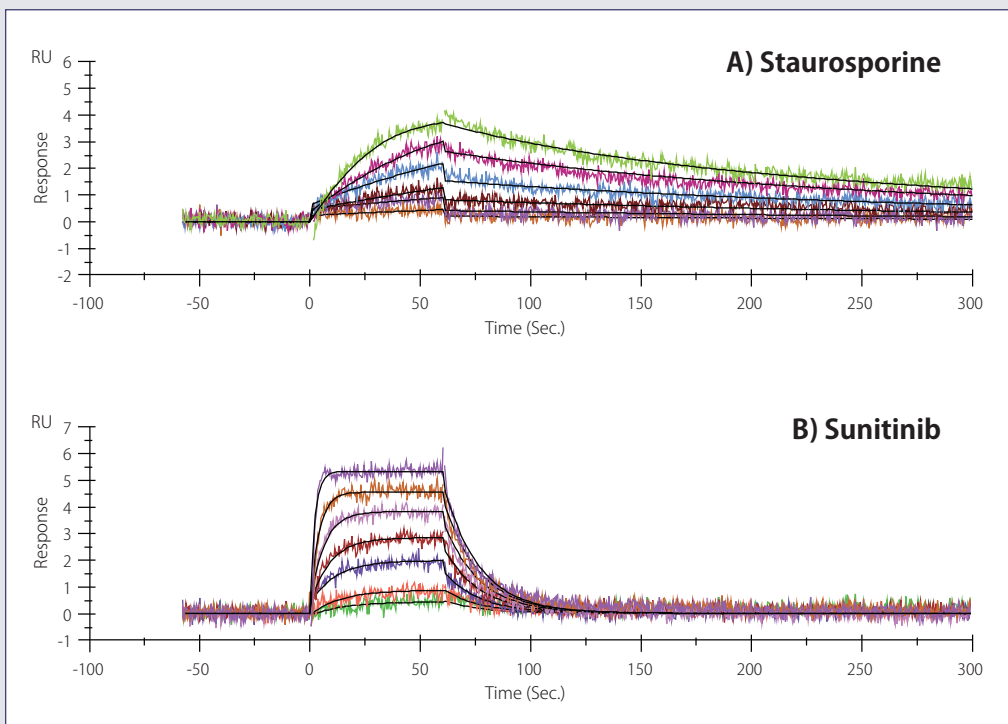


図 1. Representative SPR sensorgrams of the binding between biotinylated-FLT3 and kinase inhibitors. A) Staurosporine, and B) Sunitinib.

### 製造ステップ

クローニング、培養



精製



- ATP 処理
- ATP 処理なし
- 脱リン酸化処理 (有料)



品質チェック



入庫

販売単位：10µg/100µg

SPR(表面プラズモン共鳴)やBLI(バイオレイヤー干渉法)だけでなく  
様々な用途、解析機器でご利用いただける製品です

カルナバイオサイエンス株式会社

〒650-0047 神戸市中央区港島南町1-5-5 BMA3F

TEL: 078-302-7091 (営業部直通) / FAX: 078-302-7086

E-mail: info@carnabio.com